

## 主要行等の平成 29 年 9 月期決算の概要

### 1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 29 年 9 月期は、低金利環境の継続により本業により得られた利益（連結業務純益）は前年同期に比べ 8.4%減少したものの、株式関係損益が増加したことや、与信関係費用で戻入益を計上したことなどにより、当期純利益は前年同期に比べ 9.6%の増加。

（単位：億円）

	27 年 9 月期	28 年 9 月期	29 年 9 月期	前期比
連結業務粗利益	55,569	52,747	52,007	▲ 740
資金利益	27,919	24,321	24,519	198
役務取引等利益	16,535	16,133	16,277	144
その他業務利益	4,967	5,675	5,379	▲ 297
うち債券等関係損益*	1,939	2,880	1,540	▲ 1,340
経費	▲ 32,704	▲ 33,029	▲ 34,137	▲ 1,108
連結業務純益	22,448	20,145	18,446	▲ 1,699
与信関係費用**	▲ 693	▲ 989	949	1,938
株式等関係損益	1,895	1,465	2,428	963
うち株式等償却*	▲ 375	▲ 185	▲ 36	149
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,051	14,435	15,816	1,381

\*債券等関係損益、株式等償却については銀行単体ベース。\*\*与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）	27 年 9 月末	28 年 9 月末	29 年 9 月末
貸出金（末残）***	292.5 兆円	289.1 兆円	299.0 兆円

\*\*\*貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計。

### 2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権額は 29 年 3 月期に比べ減少、不良債権比率も低下。  
（いずれも平成 11 年 3 月期の金融再生法に基づく開示以降で最低）

	28 年 9 月期	29 年 3 月期	29 年 9 月期
不良債権額	2.9 兆円	2.9 兆円	2.5 兆円
不良債権比率	0.91%	0.87%	0.74%

### 3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、Tier1 比率、普通株式等 Tier1 比率は、29 年 3 月期に比べ上昇。
- 国内基準行の自己資本比率は、29 年 3 月期に比べ低下。  
（国際統一基準行：4 グループ）      （国内基準行：3 グループ）

	29 年 3 月期	29 年 9 月期		29 年 3 月期	29 年 9 月期
総自己資本比率	16.29%	17.05%	自己資本比率	11.88%	11.84%
Tier1 比率	13.55%	14.23%			
普通株式等 Tier1 比率	11.73%	12.22%			

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）グループ連結ベースは、みずほFG、三菱UFJFG、三井住友FG、三井住友トラストHD（以上、国際統一基準行）、りそなHD、新生銀行、あおぞら銀行（以上、国内基準行）を対象とする。

（注3）銀行単体ベースは、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、新生銀行、あおぞら銀行を対象とする。